

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名：グラウンドライナーW2

会社名：株式会社ニッソーグリーン

住所：〒110-0005 東京都台東区上野3-1-2

担当部署：営業普及二部

電話：03-5816-4351

FAX：03-5816-4355

製品番号(MSDS NO)：8139000Z004-1

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

眼に対する損傷性/眼刺激性：区分 2

発がん性：区分 2

特定標的臓器毒性(単回暴露)：区分 1

特定標的臓器毒性(反復暴露)：区分 1

環境有害性

水生毒性-慢性：区分 4



注意喚起語：危険

危険有害性情報

眼への刺激

発がんのおそれの疑い

単回暴露により中枢神経/中枢神経系、腎臓、心臓、呼吸器/呼吸器系の障害

長期または反復暴露による中枢神経/中枢神経系、心臓、呼吸器/呼吸器系、肺の障害

長期的影響により水生生物に有害のおそれ

注意書き

予防

使用前に取扱い説明書を入手する。

粉じん/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入してはならない。

取扱い後は汚染箇所をよく洗う。

この製品を使用するときは、飲食または喫煙をしてはならない。

屋外または換気の良い場所でのみ使用する。

(適切な処置を講じたとき以外は)環境への放出を避ける。

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

必要な個人用保護具を使用する。

対応

気分が悪い時は、医師の診断/手当を受ける。

吸入した場合：被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用し容易に外せる場合は外し洗浄を続ける

暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断/手当を受ける。

眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当を受ける。

保管

施錠して保管する。

換気の良いところで保管する。容器を密閉する。

廃棄

内容物/容器を国/地方の規則に従って廃棄する。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 :混合物質

成分名	含有量(%)	CAS No.	化管(PRTR)法政令番号
エチレングリコール	3.0	107-21-1	-
酸化チタン(IV)	20-30	13463-67-7	-

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

労働安全衛生法「通知すべき有害物」に該当する成分

エチレングリコール , 酸化チタン(IV)

4. 応急措置

一般的な措置

気分が悪い時は、医師の診断/手当を受ける。

暴露した場合:医師に連絡する。

吸入した場合

被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。

気分が悪い時は、医師に連絡する。

皮膚に付着した場合

付着物を清浄な乾いた布で素早く拭き取る。

溶剤、シンナーを使用してはならない。

多量の水と石鹸で洗う。

外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪いときには医師の診断を受ける。

目に入った場合

水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズ着用の場合は容易であれば外して洗浄する。

眼の中にすべて水が行き届くように洗浄する。

眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当を受ける。

飲み込んだ場合

嘔吐物を飲み込ませてはならない。

医師の指示のない場合は、吐かせてはならない。

負傷者を安静にし直ちに医師の診察を受ける。

応急措置をする者の保護

救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

適切な換気を確保する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

この製品自体は燃焼しない。

特有の消火方法

周辺火災に対応して、消火活動を行うこと。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。

周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。

環境に対する注意事項

河川への排出等により、環境への影響を起こさないように注意する。

回収、中和 ならびに 封じ込めおよび浄化の方法/機材

漏出物は、密封できる容器に回収し、安全な場所に移す。

付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置すること。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者の暴露防止)

粉じん/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入してはならない。

必要な個人用保護具を使用する。

安全取扱い注意事項

- 使用前に取扱い説明書を入手する。
- 屋外または換気の良い場所でのみ使用する。
- 保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

- 施錠して保管する。
- 換気の良いところで保管する。容器を密閉する。

避けるべき保管条件

- 日光から遮断する。

8. 暴露防止及び保護措置

職業暴露限界値、生物学的限界値等の管理指標

許容濃度

(エチレングリコール)

ACGIH(1992) STEL: 上限値 100mg/m³(H) (上気道および眼刺激)

(酸化チタン(IV))

ACGIH(1992) TWA: 10mg/m³ (下気道刺激)

保護具

呼吸器の保護具

- 呼吸用保護具を着用する。

手の保護具

- 保護手袋を着用する。

目の保護具

- 保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

- 保護衣を着用する。

衛生対策

- 取扱い後は汚染箇所をよく洗う。
- この製品を使用するときは、飲食または喫煙をしてはならない。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状 :液体

色 :白色

臭い :特になし

pH :8.5-9.5

比重/密度 :1.6-1.7

10. 安定性及び反応性

安定性

- 安定である。危険な分解反応、重合暴走反応は生じない。

11. 有害性情報

物理的、化学的および毒性学的特性に関係した症状

急性毒性

経口毒性成分データ

(エチレングリコール)

rat LD50=4000 mg/kg (CICAD 45 (2002))

局所効果

皮膚腐食性/刺激性成分データ

(エチレングリコール)

ラビット 555 mg open ; MILD

(酸化チタン(IV))

ヒト 0.3mg/3D-I ; MILD

眼に対する重篤な損傷・刺激性

眼損傷性/刺激性成分データ

(エチレングリコール)

ラビット 500 mg/24H ; MILD ラビット 100 mg/1H ; MILD ラビット 1.44 g/6H ; MODERATE

発がん性

(酸化チタン(IV))

IARC-Gr.2B ; ヒトに対して発がん性があるかもしれない。

(エチレングリコール)

ACGIH-A4(1992) : ヒト発がん性因子として分類できない

(酸化チタン(IV))

ACGIH-A4(1992) : ヒト発がん性因子として分類できない

12. 環境影響情報

環境有害性

水生毒性

長期的影響により水生生物に有害のおそれ

水生毒性

(エチレングリコール)

魚類(ヒメダカ) LC50 > 100mg/L/96hr (環境省, 2001)

(酸化チタン(IV))

甲殻類(オオミジンコ) EC50 > 1000mg/L/48hr (AQUIRE, 2003)

水溶解度

(エチレングリコール)

1000 g/L (PHYSPROP Database, 2005)

(酸化チタン(IV))

溶けない(HSDB, 2004)

生体蓄積性

(エチレングリコール)

log Pow=-1.93 (ICSC, 1999)

他の有害影響

漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。

特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

(適切な処置を講じたとき以外は)環境への放出を避ける。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄する。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号に該当しない

海洋汚染防止法

有害液体物質(Y類): エチレングリコール

有害液体物質(Z類): 酸化チタン(IV)

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

名称通知危険/有害物(第57条の2、令第18条の2別表9):

エチレングリコール;酸化チタン(IV)

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法に該当しない。

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (3rd ed., 2009), UN
MSDS・ラベル作成ガイドブック(改訂初版、平成19年5月)、日本塗料工業会
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 16th edit. UN
Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (reg.(EC) No 1272/2008)
2008 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)
2009 TLVs and BEIs. (ACGIH)
<http://monographs.iarc.fr/monoeval/grlist.html>
JIS Z 7250 (2005年)「化学物質等安全データシート」
原材料/製品メーカーMSDS

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の手扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。